



シルバーとなみ

第36号

平成28年5月10日発行

ふれあい

発行 / 公益社団法人 研波市シルバー人材センター

砺波市高道 217 の 2 TEL/0763-33-4341 FAX/0763-33-5854 HP/<http://www2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>



新緑の庄川湖畔 撮影／藤井満男（中野地区）

市内全地区で交流会を開催



砺波市シルバー人材センターは、今年も市内全地区で会員との交流会を開きました。交流会では事務局から、平成二十七年度(月末まで)の事業実績報告・事故発生状況(シルバー保険関係)を説明しました。

近年全国的にシルバー人材センターの会員数の伸び悩みが問題視されており、砺波市シルバー人材センターでは昨年度から取組んでいる、会員数拡大のため会員の皆さんの家族友人を紹介いただき、センターから積極的に入会を呼びかける「会員紹介キャンペーング」のほか、新たに今の仕事を親しい友人と一緒に働き楽しさも生きがいも倍増させよう『総力ワーキング大作戦』への協力をお願いしました。

会員の皆さんからの要望等では日頃の就業で感じている率直な質問が出され貴重な時間を過ごすことが出来ました。

皆さんからの主な意見・要望

Q. 「空き家サポート」の現状を問う。

A. 昨年四月から新たに取組みを始めた『空き家サポート』ですが、現在まで四件の依頼を受けています。砺波市内には約四百軒近くの空き家があると聞いています。様々な方法でPRをしていますが、「口コミ」による効果が一番であったことから協力をお願いします。

Q. 「派遣」と「請負」の違いは何か?また、なぜ派遣の実績が大きく伸びているのか。

A. 派遣と請負の違いは、仕事を遂行する場合に発注者からの「指揮命令」があるか、ないかが挙げられます。

派遣の事業実績が大きく伸びた要因として、スーパーなどの就業で社員の方からの指示がないと作業ができないケースがあり、この契約を「派遣」契約に切替えたことがあります。その他にも、自動車関連企業、造園業者からの依頼も派遣となり実績が伸びた要因として挙げられます。

Q. 派遣事業はなぜ砺波市シルバー人材センターではなく、富山県シルバー人材センター連合会と雇用関係を結ばなくてはいけないのか。

A. シルバー派遣事業は届出制となっており、連合会が実施事業主としての届出を労働局に提出しており、砺波市は活動拠点となります。

実施事業主となると、契約・請求業務のほか、会員との労働契約・労災保険・有給休暇の手続きなど業務が数多くあるため、連合会に専属の職員を配置して派遣事業を実施しております。

キヤンペーン実施中

砺波市の大きなイベントのチュー リップフェアが終わり今年も大勢の 観光客が来園されました。期間中、 花壇の管理や会場清掃に会員の活躍の場があり、大いに社会貢献がで きました。会員の皆様の就業に感謝します。

ただ、まだまだ会員が不足してい
てお客様からの仕事の依頼に応え
られない状況にあります。

砺波市シルバー人材センターでは
事業を実施しているセンター
もありますが、事務の効率を考え
え富山県では連合会を中心にお
いて派遣事業を行つております。

『一緒にワーキング大作戦』 『友達紹介キャンペーング』

全国的には、拠点単位で派遣事業を実施しているセンターもありますが、事務の効率を考え富山県では連合会を中心において派遣事業を行つております。

『一緒にワーキング大作戦』を実施中です。健康寿命を伸ばすためにも体力に合った仕事に取組むことが、それだけでなく精神面・経済面ともに良い事であるのは会員の皆さん自身がよく体感されておられます。

何より妻が『夫源病』にならないようにするためにも男性も女性も外に出て色々なものを見て聞くことによりストレスを溜めないで明るく老後を過ごすことになります。

会員の皆さん!ぜひお友達を誘つて一緒に仕事をしてみませんか。

働く仲間大募集!

市民参加型講習会を今年も開催

昨年、大好評だった砺波市在住で六十歳以上対象の市民参加型講習会を、今年も開催しました。まずは、一月二十七日(水)、「竹垣根作り講習会」が砺波市シリバーワークプラザで開催され、男女合わせて十五名が竹垣根作りに取組まれました。

講師は、日頃から剪定・雪吊などの樹木管理で就業されている会員の老松義勝さんと古島久長さんに務めていただき、様々な種類がある『竹垣』のなかでも、センターにも依頼が多い『四ツ目垣』作りを学びました。

講習会では老松さんから『作り方』について必要な道具・材料・制作方法など資料をもとに説明を聞き、実際に参加者一人人が制作しました。

実技では、竹の切り方、並べ方・縄の結び方など教わり、一時間半という短い時間でしたが立派な四ツ目垣を作りました。



竹を結ぶコツを講師の会員から丁寧に教わりました。



シワができるないようにきちんと糊を付けて紙を張っていきます。

また、二月三日(水)には、「障子張替え講習会」を開催し、男女合わせて十三名が障子の張替えを学びました。

講師は、日頃から障子戸・襖の張替え業務で就業している会員の花木輝雄さんと安田千香子さん、前美津子さん、齊藤政治さんに務めていただき、実際に教材の障子戸をきれいに洗うところから、張替えの技術を実践も織り交ぜて教えていただきました。

受講生の皆さんは、棧の汚れをしつかりと落すことや、障子紙の切り方のコツなど美しく仕上げる方法を学びました。

技術習得だけでなく、シルバー人材センターの取組を知つてもらう目的で始まったこの講習会も、募集開始から今年も大変好評! 定員に外れた方から、「次回の講習会はいつ?」との声も聞かれ、さらに会員の皆さんとふれあうことで市民の方々が、シルバー人材センターに興味・関心を担う良い機会になりました。

技能講習会の開催予定

シルバー会員就業向け

◎安全運転講習

開催日 六月十日(金)

開催会場 砺波自動車学校

募集定員 十五名

受付期間 五月十日より開始

◎造園(雪吊り・雪廻り)

開催日 七月二十一日(木)

二十二日(金)

開催会場 県民公園頬成の森

募集定員 十名

受付期間 六月二十日より開始

◎インテリアリフォーム(障子・襖張り)

開催日 十月十一日(火)

十一日(水)

開催会場 砺波まなび交流館

募集定員 十名

受付期間 九月九日より開始

受講申し込みはシルバー人材センター、ハローワークに備え付けの募集用のカリキュラムを参照のうえ、所定の受講申込書で申し込みください。

高齢者支援のための調理講習会を開催

二月五日(金)に「高齢者支援のための調理実習と研修会」が砺波市健康センターで開催し、日頃から高齢者支援事業などで就業している二十二名の会員が参加しました。

調理実習では、塩分を抑え、野菜を細かく切るなど高齢者が食べやすく健康に配慮した調理の仕方を学びながら、酢豚やステップなどを調理しました。午後からは『これから健康づくりについて』というテーマで研修会が行われ、その講演の中で、「不健康の入口は生活習慣病が大きく関わっております。日頃から砂糖・塩を多く摂らず、体を動かすことが大切。バランスの良い食事には、主菜+副菜+主食+汁物を摂ることが基本。食事は夜七時までに食べるようにして、遅くにはあまり食べないようする習慣を心掛けてください。」と話がありました。

受講した皆さんからは、

・薄味で素材の味が生きておいしかった。
・少しの工夫で食べやすくなる。

・高齢者の食事には、「思いやり」のひとつ時間が大切だと感じたなどの声が聞かれました。



野菜を切る際にも「思いやり」のひと手間を

対前年度事故件数比較表

区分	26年度	27年度	増減数
傷害事故	1	4	+3
賠償事故	4	5	+1
合計	5	9	+4



安全確認は確実に
指差し呼称は
大きな声で
よし!

今年度の取組みとして、会員の皆さんから「安全就業標語」を募集し、優秀作品を表彰、その作品を掲出することで安全意識の高揚を図っています。詳細が決まりましたらセントラルからお知らせします。

平成二十七年度は対前年比で傷害事故が三件の増、賠償事故が一件の増で、合わせて四件の増となりました。賠償事故五件のうち三件が刈払機での除草作業中の飛び石事故で賠償金額は三十五万九千円に達しました。その内容は車両の移動やガラスの養生をすることで防ぐことが出来るものもありました。

傷害事故では、会員自身の不注意や安全帽の未装着や身の回りの整理整顿を怠ったことによる事故が目立ちました。また、近年増加傾向にあるのはハチなどによる虫刺されの事故も報告されています。

平成二十七年度は対前年比で傷害事故が三件の増、賠償事故が一件の増で、合わせて四件の増となりました。賠償事故五件のうち三件が刈払機での除草作業中の飛び石事故で賠償金額は三十五万九千円に達しました。その内容は車両の移動やガラスの養生をすることで防ぐことが出来るものもありました。

シルバー安全ニュース

去る四月二十六日(火)、砺波市シルバー人材センターの第一回安全・適正就業推進委員会を開催し、平成二十八年度安全・適正就業推進計画を策定しました。

一・事故件数削減数値目標の設定

① 傷害事故・物損事故を前年度発生件数の10%削減を目指す。

② 事故件数削減目標達成に向けた取組み

・「指差し呼称」で安全を確認する

・就業前ミーティングの徹底

・三脚脚立と樹木との結束の徹底

・整理・整頓・清掃・清潔の徹底

二・安全意識の高揚

① 「安全就業標語」の募集・掲出による意識高揚を図る

② 「ヒヤリハット体験事例」の募集・掲出による意識高揚を図る

③ 安全就業講習・研修会の開催



刈払機取扱講習会
六月十九日(金)・三月十日(木)



チエンソー取扱講習会
一月十日(水)



安全運転講習会
一月十五日(金)

安全就業講習会の開催の様子

配分金支払い日案内

5月16日(月)
6月15日(水)
7月15日(金)
8月15日(月)
9月15日(水)
10月17日(月)



東日本大震災から五年も経つていいないというのに、熊本地方で大きな地震が起きました。

九州では過去何百年間、大きな地震が起きていたので、「起きない」と思っておられたようですが、ここ富山県でも大きな地震を経験していません。ですから私は「起きないだろう」と確信していました。

でも今回の地震によってその確信が揺らいいで、「起きるかもしれない」と思えてきました。改めて砺波市の防災マップを出して自身で何

が出来るか家族で話し合いました。「起きるかもしれない」と思い防災グッズを用意したり、シミュレーションしてみると、これが起きた場合「想定外」とか「経験則から外れている」という考え方をしないで、前向きに対応できるのではないかというふうか。

ただ、私たち高齢者は「起きるかもしれない」と、行動に消極的にならぬるのではなく、今日一日を大切にし、周りの人たちと楽しく過ごしたいのです。